

2018年度 フロントティアコース活動報告



第1回「ファーストチャレンジ ようこそ！ウェルカムクッキング」

会場：川崎市黒川青少年野外活動センター
(神奈川県川崎市)

ロッキー
5/27(日)

ヒマラヤ
6/3(日)

今年度最初のチャレンジは「クッキング」からスタート！炭火を使ったクレープづくりを通して、班の仲間との関係性を築くことを目指しました。フロントティア経験者がリードしながら、各班さっそく賑やかな雰囲気。また何枚もクレープを焼く行程の中で自然と体験学習がなされ、完成度も上がっていきます。これらは、フロントティアコースの中での大事な要素のひとつ。班としての大切な一歩目を踏み出した活動となりました。



第2回「クラフトチャレンジ つくろう！ファイヤークラフト」

会場：光が丘公園（東京都練馬区）

ロッキー
7/1(日)

ヒマラヤ
7/8(日)

フロントティアコースの中で大切なスキルのひとつ「火起こし」にチャレンジ。特に第3回～4回は火起こしができないと「食事が作れない！」ほどの重要度、各自の経験値を活かしながら復習や練習をしていきます。さらに起こした火を用いて「焼き板」と呼ばれるクラフトを作成しました。「火」を中心に、さらに班がグッとひとつになると共に、各々が経験値を出し合う。そんな雰囲気が生まれたチャレンジです。



第3回「料理人チャレンジ 本日開店！フロントティア屋台村」

会場：子ども自然公園野外活動センター
(神奈川県横浜市)

ロッキー
9/22(土)
～23(日)

ヒマラヤ
9/29(土)
～30(日)

「屋台を開き、完売を目指すこと」がテーマの第3回。アウトドアクッキングのスキルはもちろんのこと、完売するための戦略を練り、味や見た目に工夫をするかがキーワードとなりました。各班、班としての課題が浮き彫りになった1日目。しかしそれを経た2日目、見せたのは「ひとつの目標に向かって行動する力」でした。課題を自分たちで解決し、個々として、班として大きく成長したまさに「ターニングポイント」です。





第4回「テント泊チャレンジ 発揮せよ！本気のチーム力」

会場：愛川ふれあいの村（神奈川県愛甲郡）

2クラブ合同
10/27(土)～28(日)

フロンティアコース恒例のチャレンジ。限られた資材と時間、環境で挑むは「自分たちにとって最高！」と思える2日間を「自分たちのチカラ」作り出すことです。テント設営に複数回の調理、さらには班の話し合いなど、全てにこれまで積み上げた「各班の良い所」と「個々の良い所」を如何なく発揮！特に食事作りはたくさんの「最高！」を見ることができ、多くの成長を見ることができた2日間です。



第5回「旅人チャレンジ 冒険！江の島の旅」

会場：江の島周辺（神奈川県藤沢市）

ロッキー
12/2(日)

ヒマラヤ
12/9(日)

30km チャレンジハイクを控え、自分たちで行動計画を経て実行することにチャレンジした第5回。目指すは「自分たちにとって最高の旅」にすることです。これまで以上に計画や合意形成、時間管理が重要になる中で「どうすればよいものになるか」を一生懸命に考えて旅を進める各班。ラストは「ゴール時間がピンチ！」という状況に追い込まれた班もありましたが、無事にゴール！最終回に向けて、新しい気づきを得た活動でした。



第6回「ファイナルチャレンジ 30km チャレンジハイク」

会場：黒川青少年野外活動センター（神奈川県川崎市）
～多摩川河川敷

2クラブ合同
2/9(土)～10(日)

集大成となるチャレンジ、目指すのは、30km 完歩はもちろん「最高のゴール」にすることです。朝6時に歩き出した道のりは、序盤は快調そのもの！しかし徐々に疲労感や脚の痛みが襲ってきます。それでも自然と「最高にするために」アクションを起こせることが子どもたちの強みです。時に励まし、時にカバンを持ってあげ、全員で全班が完歩！「最高」を目指し続けた1年間のゴールに相応しいチャレンジとなりました。



★参加者の感想



「フロンティアコースの思い出」

私は、今年はいじめてフロンティアコースに参加しました。その中で特に心に残ったことが2つあります。

一つ目は屋台村の時のことです。雨でタープテントのはしに水がたまっていたのですが、私は面白かったので、台にのってそこをタブタブと下からおして遊んでいました。そうしたら、友だちがタープテントのはしにとう着した時と、私が水をタブタブしたタイミングが丁度あってしまいました。私が見おろした時には、目の前で友だちがぬれねずみになって立っていました！

二つ目も同じ屋台村の時のことです。「雨男」むらじが「台風男」にパワーアップして、帰り道が大雨となり、みんなでピチョピチョになりました！一年間、大変なことも良いこともあったけど、楽しいなか間、友だちをたく山作れたことが一番の思い出です。次のフロンティアコースにも参加したいです。

(小学3年生 女子)

※手書きの原文を、そのままデータ化して掲載しています。

★保護者の方の声

今回の活動も、とても楽しかったと嬉しそうに帰ってきました。火を復活させたことを、カウンセラーさんや班のお友達が褒めてくれたことがとても嬉しかったようで、誇らしげでした。

幼稚園の頃から参加させて頂いておりますが、今までのキャンプでは“苦手なこと”や“今後の課題”に目が行きがちで、褒められたり認められていると本人が感じられることは少なかったと思います。そういった面からも今回の活動は特に嬉しかったようです。

(第3回 料理人チャレンジ 小学6年男子)



顔も身体も真っ黒で、全身良い感じに燻られて帰ってきた娘の手には、立派なファイアークラフトがありました。本人も大満足の出来だったようで、他の班のお友達に見せ合いっこしよう、と約束をするほどでした。チームは経験者が多く、またパワーのある男の子がいる中、どう知恵を出しあって力を発揮できるか娘なりに全体をみて考えているようです。昨年と比べて、また一回り成長を感じました。

(第2回 クラフトチャレンジ 小学4年生)

★キャンプカウンセラーより



「視点が変わって」 ロッキークラブ キャンプカウンセラー：にっしー

私は、NOTS を小学生の頃から知っていました。

何を隠そう、私は NOTS キャンプの参加者だったのです。いつしか「自分も NOTS のキャンプカウンセラーになりたい!」と思うようになっていました。いざキャンプカウンセラーになってからは、私が参加者だった頃に担当してもらった大先輩にもアドバイスを頂きながら、「どうしたら子ども達に私がさせてもらったようなステキな体験をしてもらえるか」試行錯誤をする日々でした。楽しんでいた参加者の時代とは立つ視点がもちろん変わっており、この1年を振り返ると「当時のカウンセラーもこんなことやあんなことを考えながら、私たちにステキな体験をさせてくれたのかなあ」などとしみじみと感じます。



「まずやってみる」 ヒマラヤクラブ キャンプカウンセラー：こっこ

私自身、はじめてのフロンティアで期待と不安、ドキドキでいっぱいだった一年前。新しい仲間、新しい班での冒険のはじまりでした。

時に天気に脅かされ、また味方してもらいながら、挑戦して、失敗して、考えて、仲間と悩んで、そしてもう一度挑戦して。刃物は注意して使わないとケガをする。火おこしは熱と空気が大事。班のことはみんなです。自分でやってみるからわかる、その経験が大事なのだと子ども達の姿から感じました。ぶつかりながら試行錯誤しながら全力で自分と仲間と向き合う色々な表情や思い出の数々が鮮明に心に残っています。確かな自信をもってひと回り遅くなったみんなのこれからがとても楽しみになる、そんな一年間でした。



★ディレクターより

村中（むらじ）

「なんかイイ感じ」

それは第4回活動の中で、多くのキャンプカウンセラーが班の様子として用いた言葉です。ニュアンスや表現こそ異なれど、似たような感覚を受けていました。中には「順調すぎて怖いくらい」なんて声も。

あの日、本当に「イイ感じ」でした。どの班も、子どもたち自身が同じ方向を向き、一人ひとりが「自分自身」を発揮していたように私は感じます。それは時間がスムーズだったとか、夕食の味が良かったとかではなく、本当に「イイ感じ」なのです。

「最高の●●を目指すこと」がフロンティアのキーワード。それは「何をしたいのか」「どうありたいのか」を明確にし、仲間と共に行動していくための指針。そのプロセスにこそ伝えたいことが詰まっています。「イイ感じ」はその大事なプロセスのひとつ。ぜひこれからも大事にしてほしいと願っています。

